



千葉民医連 医療講演会 中村哲医師追悼

国際NGO団体

ペンシャワール会

Peace (Japan) Medical Services

WEB 講演会



2020年7月4日 土

参加費
無料

開会 14:00

講演 14:30~16:30

※時間は都合により変更となる場合があります。
予めご了承ください。

◆講師 PMS室長/総院長補佐
藤田千代子氏

◆会場 オンラインにて開催

※津田沼モリシアホールより変更となりました
「Zoom」を使用。事前にダウンロードをお願いします。

◆参加者

医療系学生(医学生、看護学生、薬学生、介護学生)
千葉大生(全学部)・国際医療福祉大生(全学部)
医療系を目指す受験生・高校生

【お申込みお問い合わせ】

参加希望の方は代々木病院医学生室のホームページ「ペンシャワール会」のページの申し込みフォームよりお申込みください。

代々木病院医学生室

お申し込みフォームは
こちら

TEL 03-3404-7680

E-MAIL yo_igakusei@tokyo-kinikai.com



■ペシャワール会と中村哲医師の活動とは

2000年からアフガニスタンで顕在化した空前の大干ばつ。診療所があっても水がないことには、村人の生存そのものが不可能な事態にまで。また、2001年9.11事件からアメリカは報復と称し、アフガンに大規模な空襲もあり、アフガニスタン一帯は過酷な状況下におかれました。それらの支援活動をしてきたのが、1983年パキスタンでの医療活動を支援する目的で結成された国際NGO(NPO)団体「ペシャワール会」です。2002年からアフガン東部山村の長期的復興計画「緑の大地計画」を開始し、灌漑用水路建設、更に近隣の地域に次々と用水路が建設されました。これにより65万人の命を養う緑の農地によみがえりました。一方、アメリカはアフガンに100兆円を超える軍事費を投入し、殺戮と破壊と混乱だけを残して撤退＝敗退したのです。ペシャワール会30年の活動は、「現地の人々の立場に立ち、現地の文化や価値観を尊重し、現地のためにはたらく」ことを大切に継続されてきました。アメリカの戦争に加担し出兵した欧米諸国と対照的に、武器を持って戦闘しない「平和憲法」を持つ日本への親近感が失われなかったことが、現地での活動の安全を支えてきました。武力を行使しないことが、戦乱の地で最も有効な安全の要であることをペシャワール会30年の活動が実証してきたのです。

■主催団体 千葉県民主医療機関連合会（千葉民医連）とは

千葉民医連は、全国組織である「全日本民主医療機関連合会（略称・民医連）」に加盟する、医療・福祉事業所を中心に構成されています。全国すべての都道府県にある民医連事業所は、「民医連綱領」にもとづき、地域住民の方々の切実な要求に応え、いのちや健康にかかわる社会問題に積極的に取り組んでいます。

また、人権を尊重する医療・福祉従事者の育成に努め、地域医療に関心のある医系学生や、介護職をめざす学生に、さまざまな体験や学習の機会を提供しています。

現在50余の事業所が3万7千人の共同組織（友の会）の方々に支えられながら、安心して住み続けられるまちづくりを共にすすめています。

○当イベントにご参加希望の方は、事前にお申し込みをお願いしております。
Eメールか電話にて、氏名・学校・学年・連絡先（電話番号・Eメールアドレス）をご連絡ください。

○オンライン形式での講演会です。

「Zoom」にて開催。ダウンロード（無料）をお願いします。※偽アプリにご注意ください

◆PCの場合 Zoom公式のダウンロードセンターより<https://zoom.us/download>

◆スマホ・タブレットの場合は アプリ検索で「Zoom」と検索

○講演会終了後に第二部として16：30～17：30（予定）グループワークを予定しております。希望者のみですが、是非合わせてご参加ください♪

第二部参加の可否は、お申込みフォームの備考欄またはメールにてご記入ください。

○その他、ご参加に関するお問い合わせやご不明な点等ございましたら
表面に記載の電話番号またはEメールにてご連絡ください。

主催 千葉県民主医療機関連合会